

製品構成情報シート

| | | |
|-------|------|-----------------------------------|
| 製造者情報 | 会社名 | フクビ化学工業株式会社 |
| | 住所 | 福井県福井市三十八社町 33-66 〒918-8585 |
| | 担当部門 | マネジメントシステム部 |
| | 連絡先 | TEL 0776-38-8031 FAX 0776-38-8404 |
| | 作成 | 2011年2月6日 |
| | 改訂 | 2024年2月1日 |

商品名 ノンケミアリダン工法

製品の構成

構成材質 / 成分

ノンケミアリダンクリスタル (※)

ホウケイ酸ガラス

ノンケミ専用固化剤 (※)

アクリル樹脂系水性エマルジョン

ノンケミ専用アングル

硬質ポリ塩化ビニル樹脂

専用アングル止め接着剤 (※)

一液形エポキシ変成シリコーン樹脂系接着剤

コニシ社製 ボンド エフレックス ホワイト

日本接着剤工業会 F☆☆☆☆ / 4VOC基準適合

(※) 安全データシート参照

含有化学物質名

含有部位

含有率

CAS No.

【含有化学物質に関するその他の情報】

本製品では建築基準法においてシックハウス対策として指定されている揮発性有機化合物のクロルピリホス、ホルムアルデヒドの使用はありません。

この他、シックハウス対策として厚生労働省では「室内濃度の指針値」でクロルピリホス、ホルムアルデヒドの他、トルエン、キシレンなど全14種類の揮発性有機化合物を指定していますが、本製品ではいずれも使用はありません。

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学品の名称：ノケミアリダ ソクリスル

供給者の会社名称、住所および電話番号

社名：フケビ 化学工業株式会社

住所：福井県福井市三十八社町 33-66 〒918-8585

担当：マネジメントシステム部

TEL : 0776-38-8031 FAX : 0776-38-8404

作成：2008年9月11日 改定：2024年2月1日

2. 危険有害性の要約

< 化学品の GHS 分類 >

物理化学的危険性：いずれの項目も、区分に該当しない。

健康に対する有害性：いずれの項目も、区分に該当しない、または分類できない。

環境に対する有害性：いずれの項目も分類できない。

< 化学品の GHS ラベル要素および注意書き >

絵表示またはシボル：該当なし。

注意喚起語：該当なし。

危険有害性情報：該当なし。

注意書き：該当なし。

3. 組成および成分情報

化学物質または混合物の区別：混合物（リサイクル材）

化学名または一般名：ホウケイ酸ガラス粉砕物

成分：ホウケイ酸ガラス

化学式： $\text{SiO}_2 - \text{B}_2\text{O}_3 - \text{Al}_2\text{O}_3 - \text{Na}_2\text{O}$

CAS No.：特定できない。

4. 応急処置

皮膚に付着した場合：

水と石けんで付着した部分を洗う。

外観の変化や痛みがある場合には医師の診察、手当を受ける。

眼に入った場合：

直ちに清浄な水で15分以上洗浄、医師の診察、手当を受ける。

飲み込んだ場合：

口の中を水ですすぐ。無理に吐き出させずに、直ちに医師に連絡する。

5. 火災時の措置

本品は不燃性で燃えない。

周囲の燃焼等で加熱されても、特段の反応は生じない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：

回収作業では、保護手袋、保護メガネ、保護マスク、保護衣を着用する。

保護手袋には、ゴム手袋等を用いる。

環境に対する注意事項：

河川、下水道等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法：

ポリ袋、空容器等に回収する。河川や下水道等に拡散しないように注意する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

< 取り扱い >

適切な技術対策、取り扱い者のばく露防止：

皮膚粘膜、または着衣に触れたり、眼に入れたりしないようにする。

取り扱い後は、手や顔等をよく洗い、うがいをする。衣服に付着した場合は着替える。

< 保管 >

適切な技術対策：

高温、直射日光、水、湿気を避けて保管する。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：設定されていない。

保護具：

呼吸用保護具：特になし。

手の保護具：保護手袋。

眼の保護具：保護メガネ。

皮膚および身体の保護具：長袖衣。

9. 物理的および化学的性質

物理状態：尖角形状の薄片。

色：各色（無色透明、着色品混合）。

臭い：なし。

沸点または初留点および沸点範囲：データなし。

可燃性：データなし。

爆発下限界および爆発上限界 / 可燃限界：データなし

引火点：データなし。

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：該当しない。

動粘性率：データなし

蒸気圧：データなし

密度（比重）：1.3 - 1.4

相対ガス密度：データなし

粒子特性：データなし

粘度：該当しない。

10. 安定性および反応性

反応性：通常の保管、取り扱いでは反応しない。

危険有害反応可能性：通常の保管、取り扱いでは危険、有害な反応は生じない。

避けるべき条件：高温、直射日光、水、湿気に長時間さらさない。

混触危険物質：特になし。

危険有害な分解生成物：特になし。

11. 有害性情報

急性毒性：区分に該当しない。

皮膚腐食性 / 刺激性：

データなし。機械的な皮膚刺激により、かゆみ、発赤の場合がある。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性：

データなし。機械的な眼刺激により、発赤、角膜の傷、催涙の場合がある。

呼吸器感作性 / 皮膚感作性：

データなし。機械的な影響が考えられる。

生殖細胞変異原性：データなし。

発がん性：データなし。

生殖毒性：データなし。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：データなし。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：データなし。

誤えん有害性：データなし。

12. 環境影響情報

生態毒性：データなし。

残留性 / 分解性：データなし。

生体蓄積性：データなし。

土壌中の移動性：データなし。

水圏層への有害性：データなし。

データはないが、河川や湖沼等に流入した場合、水生生物に影響が出る場合が考えられる。

本品を河川や排水溝等には直接流さないようにする。

13. 廃棄上の注意

許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制（国連番号 / 国連分類 / 容器等級）：該当しない。

輸送または輸送手段に関する特別の安全対策：

転倒、落下ならびに損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制：非危険物（消防法・船舶安全法・航空法）

15. 適用法令

毒物劇物取締法：該当しない。

消防法：該当しない。

化学物質管理促進法：該当しない。

労働安全衛生法：該当しない。

16. その他の情報

引用文献：

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム

化学工業日報社 15307 の化学商品

本書は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、法令の改正や新しい知見により改定することがあります。本品の使用にあたっては、使用者の責任において適切な安全対策を実施したうえで使用してください。本書は情報を提示するもので、安全や品質を保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学品の名称：ノック専用固化剤

供給者の会社名称、住所および電話番号

社名：ノック化学工業株式会社

住所：福井県福井市三十八社町 33-66 〒918-8585

担当：マネジメントシステム部

TEL：0776-38-8031 FAX：0776-38-8404

作成：2008年9月11日 改定：2024年2月1日

2. 危険有害性の要約

< 化学品の GHS 分類 >

物理化学的危険性：いずれの項目も、区分に該当しない。

健康に対する有害性：いずれの項目も、区分に該当しない、または分類できない。

環境に対する有害性：

水生環境有害性 短期（急性）：区分 3

水生環境有害性 長期（慢性）：分類できない。

大気層への有害性：分類できない。

< 化学品の GHS ラベル要素および注意書き >

絵表示またはシボル：該当なし。

注意喚起語：該当なし。

危険有害性情報：

H402 水生生物に有害。

注意書き：

[安全対策]

P273 環境への放出を避ける。

[廃棄]

P501 内容物や容器は、国、都道府県知事などの許可を受けた業者に委託して廃棄する。

3. 組成および成分情報

化学物質または混合物の区別：混合物

化学名または一般名：アクリル樹脂エマルジョン

成分（CAS No.）および濃度：

アクリル酸アルキルエステル樹脂（CAS No. 特定できない） 30 - 40 %

アンモニア水（CAS No. 1336-21-6） 0.2 %

4. 応急処置

皮膚に付着した場合：

汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぐ。水または微温湯、石けんで付着した部分を洗う。

外観の変化や痛みがある場合には医師の診察、手当を受ける。

眼に入った場合：

直ちに清浄な水で15分以上洗浄、医師の診察、手当を受ける。

飲み込んだ場合：

口の中を水ですすぐ。無理に吐き出させずに、直ちに医師に連絡する。

5. 火災時の措置

本品は燃焼しないが、水が蒸発した後は可燃物になる。

消火剤：粉末消火薬剤、水溶性液体用消泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水。

使ってはならない消火剤：特になし。

特定の危険有害性：火災によって、刺激性、有害ガスが発生する場合がある。

特定の消火方法：

初期の火災には、粉末、二酸化炭素などを用いる。

大規模火災の際には、水溶性液体用消泡消火薬剤などを用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却する。

移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火のための放水などにより、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護：消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

6. 漏出時の措置

<大量の場合>

人体に対する注意事項：

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれた場所は滑りやすいため注意する。

環境に対する注意事項：

河川、下水道等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

除去方法：

作業の際には必ず保護具を着用する。できるだけ空容器に回収し、ウエス等で拭き取る。

河川、下水道等に排出されないように注意する。

<少量の場合>

人体に対する注意事項：

人体や衣服などに付着しないように注意する。

環境に対する注意事項：

河川、下水道等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

除去方法：

ウエス等で拭き取る。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

<取り扱い>

適切な技術対策、取り扱い者のばく露防止：

取扱いは換気のよい場所で行う。

皮膚粘膜、または着衣に触れたり、眼に入れたりしないようにする。

取り扱い後は、手や顔等をよく洗い、うがいをする。

その他の注意：

冷却すると凝固するので、冬季には温度低下に注意する。

< 保管 >

適切な技術対策：

通気の良い場所で容器を密閉して保管する。直射日光を避ける。

注意事項：

5°C以下または 35°C以上にならないようにする。強酸化性物質、火源の近くに保管しない。

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：設定されていない。

設備的防止対策：

大量に取り扱う場合、密閉場所で作業する場合には局所排気装置を設ける。

取り扱い場所の近くに洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。

保護具：

呼吸用保護具：保護マスク。

手の保護具：保護手袋。

眼の保護具：側板付き保護メガネ、またはゴーグル型。

皮膚および身体の保護具：長袖作業衣。

9. 物理的および化学的性質

物理状態：液体。

色：乳白色。

臭い：微臭。

沸点または初留点および沸点範囲：データなし。

可燃性：データなし。

爆発下限界および爆発上限界 / 可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：8 - 9.5 (20°C)

動粘性率：データなし

蒸気圧：データなし

密度：1.0 - 1.1 g/cm³

相対ガス密度：データなし

粒子特性：データなし

粘度：1 - 200 mPa·s (23°C)

10. 安定性および反応性

反応性：通常の保管、取り扱いでは反応しない。

危険有害反応可能性：通常の保管、取り扱いでは危険、有害な反応は生じない。
避けるべき条件：直射日光や高温環境に長時間さらさない。また氷点下環境にさらさない。
混触危険物質：強酸化剤との接触を避ける。
危険有害な分解生成物：特になし。

11. 有害性情報

<急性毒性>

未知成分を含み、データ不足のため、分類できない。

<皮膚腐食性 / 刺激性>

データ不足のため、分類できない。

<眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性>

データ不足のため、分類できない。

<呼吸器感作性 / 皮膚感作性>

データ不足のため、分類できない。

<生殖細胞変異原性>

データ不足のため、分類できない。

<発がん性>

データ不足のため、分類できない。

<生殖毒性>

データ不足のため、分類できない。

<特定標的臓器毒性（単回ばく露）>

データ不足のため、分類できない。

<特定標的臓器毒性（反復ばく露）>

データ不足のため、分類できない。

<誤えん有害性>

データ不足のため、分類できない。

12. 環境影響情報

<生態毒性>

水生環境有害性 短期（急性）：

成分より区分3と判定。

水生環境有害性 長期（慢性）：

データなし。

<残留性 / 分解性>

混合物としてのデータなし。

<生体蓄積性>

混合物としてのデータなし。

<土壌中の移動性>

混合物としてのデータなし。

<水圏層への有害性>

混合物としてのデータなし。

十分なデータはないが、河川や湖沼等に流入した場合、水生生物に影響が出る場合が考えられる。
本品や本品を使った器具等の洗浄水は、河川や排水溝等には直接流さないようにする。

13. 廃棄上の注意

内容物や容器は、許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国際規制（国連番号 / 国連分類 / 容器等級）：該当しない。

輸送または輸送手段に関する特別の安全対策：

転倒、落下ならびに損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

第一類、第六類の危険物、および高圧ガスと混載しない。

国内規制：非危険物（消防法・船舶安全法・航空法）

15. 適用法令

毒物劇物取締法：該当しない。

消防法：該当しない。

化学物質管理促進法：該当しない。

労働安全衛生法：施行令別表第九 - 表示、通知すべき危険有害物 -
アンモニア水（0.2 %）

16. その他の情報

引用文献：

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム

化学工業日報社 15307 の化学商品

本書は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、法令の改正や新しい知見により改定することがあります。本品の使用にあたっては、使用者の責任において適切な安全対策を実施したうえで使用してください。本書は情報を提示するもので、安全や品質を保証するものではありません。

安全データシート

作成日: 2020/07/29

改訂日: 2024/01/19

ボンド エフレックス ホワイト

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

化学品の名称 : ボンド エフレックス ホワイト
SDS番号 : 159730

供給者の会社名称

供給者の会社名称 : コニシ株式会社
住所 : 大阪市中央区道修町1-7-1
電話番号 : 06-6228-2994 (大阪本社 技術)

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 090-7356-6462

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途及び使用上の制限 : TM工法用、異種材料の接着。所定の用途以外には使用しないこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | | |
|-------|------------------|-----|
| 健康有害性 | 皮膚腐食性/刺激性 | 区分2 |
| | 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 区分2 |
| | 皮膚感作性 | 区分1 |
| 環境有害性 | 水生環境有害性 短期(急性) | 区分2 |
| | 水生環境有害性 長期(慢性) | 区分2 |

GHS分類結果が「区分に該当しない」、「分類できない」の項目は記載していない。

絵表示 (GHS JP)



GHS07



GHS09

注意喚起語 (GHS JP) : 警告

危険有害性 (GHS JP) : 皮膚刺激 (H315)
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)
強い眼刺激 (H319)
長期継続的影響によって水生生物に毒性 (H411)

注意書き (GHS JP)

安全対策 : ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋を着用すること。(P280)

- 救急措置 : 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。(P302+P352)
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
特別な処置が必要である。(P321)
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P332+P313)
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P333+P313)
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P337+P313)
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)
漏出物を回収すること。(P391)
- 廃棄 : 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
一般名 : 変成シリコーンエポキシ樹脂系接着剤

| 名前 | 濃度 (%) | 化学式 | 官報公示整理番号 | | CAS 番号 |
|--|--------|---------------------|----------|-------|------------|
| | | | 化審法番号 | 安衛法番号 | |
| 4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパン重縮合物 | 非開示 | (C15H16O2·C3H5ClO)x | — | — | 25068-38-6 |
| 酸化チタン (IV) | 1 - 5% | TiO2 | (1)-558 | — | 13463-67-7 |
| ケチミン | 非開示 | 非開示 | 非開示 | 非開示 | 非開示 |
| すず及びその化合物 | < 1% | 非開示 | 非開示 | 非開示 | 非開示 |

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに医師に連絡すること。
多量の水と石鹼で優しく洗うこと。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
直ちに医師に連絡すること。
無理に吐かせないこと。
- 応急措置をする者の保護 : 適切な保護具を着用して作業する。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末化学消火剤、炭酸ガス、スプレー水または通常の泡消火剤、砂/土
火災危険性 : 可燃性固体。

- 消火方法 : 火災の場合:安全に対処できるならば漏えい(洩)を止めること。
安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
- 消火を行う者の保護 : 圧縮空気・酸素呼吸器、
耐火防護服

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
- 応急処置 : 皮膚、眼との接触を避ける。
漏出エリアを換気する。
漏出した製品に接触することもその上を歩くこともしないでください。
関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 下水道や公共用水域への侵入を防ぐ。
排水溝または水路への侵入を防ぐ。
製品を環境中に放出しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 大規模漏出の場合、溝に漏出を封じ込め、その後の安全な廃棄のため、
湿った砂または土でふさがります。
可能であればリスクなく漏出をせき止める。
- 浄化方法 : 少量の液体流出:不燃性吸収材に取り込み、廃棄用容器に入れる。
砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。
漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : 『10. 安定性及び反応性』を参照。
作業所の十分な換気を確保する。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
火気厳禁、静電気注意。
- 衛生対策 : 製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
日光から遮断すること。
乾燥した安全な場所に保管し、湿気を避ける。
- 保管温度 : 2 - 40 °C

8. ばく露防止及び保護措置

| 酸化チタン (IV) (13463-67-7) | |
|-------------------------|--|
| 許容濃度(産衛学会) | 0.3mg/m ³ ; 【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵 1mg/m ³ 総粉塵 4mg/m ³ |

| | |
|--------------|--|
| 許容濃度 (ACGIH) | TWA 0.2 mg/m ³ (R), STEL - (Titanium dioxide Nanoscale particles); TWA 2.5 mg/m ³ (R), STEL - (Titanium dioxide Finescale particles) |
|--------------|--|

| | |
|------------|---|
| 設備対策 | : 十分な換気を行う、局所排気装置を設置する。 |
| 手の保護具 | : 保護手袋を着用すること、不浸透性の保護手袋を着用する。保護手袋の選択については、以下の点に留意する。 取扱説明書に記載されている耐透過性クラス等を参考として、作業に余裕のある使用時間を設定し、その時間の範囲内で保護手袋を使用する。 |
| 眼の保護具 | : 適切な目の保護具（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用する。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 長袖作業衣、必要に応じて不浸透性の保護服及び保護長靴を着用する。保護服及び保護長靴の選択については、以下の点に留意する。 取扱説明書に記載されている耐透過性クラス等を参考として、作業に余裕のある使用時間を設定し、その時間の範囲内で保護具を使用する。 |
| 呼吸用保護具 | : 状況に応じた適切な呼吸用保護具を着用する。高濃度の化学物質を取り扱う場合は、送気マスクの装着を検討する。作業者がガスや蒸気にばく露される場合は呼吸用保護具（防毒マスク等）の着用を検討する。防毒マスクの選択については、以下の点に留意する。 酸素濃度が 18%未満の場所では使用しない。作業者が粉じんにも暴露される環境で防毒マスクを使用する場合には、防じん機能を有する防毒マスクを使用する。防毒マスクは、登録型式検定機関が行う型式検定に合格した、作業に適した性能及び構造のものを選ぶ。その際、取扱説明書等に記載されているデータを参考にする。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---------------------------|---------------------------------|
| 物理状態 | : 固体 |
| 外観 | : ペースト状 |
| 色 | : 白色 |
| 臭い | : 微臭 |
| pH | : データなし |
| 融点 | : データなし |
| 凝固点 | : データなし |
| 沸点 | : データなし |
| 引火点 | : 70 °C セタ密閉式 |
| 自然発火点 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| 可燃性 | : データなし |
| 爆発限界 (vol %) | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 相対密度 | : データなし |
| 密度 | : 1.30 - 1.50 g/cm ³ |
| 密度の測定温度 | : 23 °C |
| 相対ガス密度 | : データなし |
| 溶解度 | : 水に微溶 |
| n-オクタノール/水分分配係数 (Log Pow) | : データなし |
| 粘性率 | : 900 - 1400 Pa·s (2r/min) |
| 粘性率の測定温度 | : 23 °C |

| | |
|----------|---------|
| 動粘性率 | : データなし |
| 粒子サイズ | : データなし |
| 粒径分布 | : データなし |
| 粒子形状 | : データなし |
| 粒子アスペクト比 | : データなし |
| 粒子比表面積 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|------------------|
| 反応性 | : 水、空気中の水分と反応する。 |
| 化学的安定性 | : 通常の条件下では安定。 |
| 危険有害反応可能性 | : データなし |
| 避けるべき条件 | : 特に該当しない。 |
| 混触危険物質 | : 酸化剤。 |
| 危険有害な分解生成物 | : 一酸化炭素。 |

11. 有害性情報

| | |
|------------------|---|
| 急性毒性（経口） | : 分類できない |
| 急性毒性（経皮） | : 分類できない |
| 急性毒性（吸入） | : 分類できない（気体） 分類できない（蒸気） 分類できない（粉じん、ミスト） |
| 皮膚腐食性／刺激性 | : 皮膚刺激 |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | : 強い眼刺激 |
| 呼吸器感作性 | : 分類できない |
| 皮膚感作性 | : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ |
| 生殖細胞変異原性 | : 分類できない |
| 発がん性 | : 分類できない |
| 生殖毒性 | : 分類できない |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | : 分類できない |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | : 分類できない |
| 誤えん有害性 | : 区分に該当しない |

12. 環境影響情報

| | |
|----------------|---|
| 生態系 - 全般 | : 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱に注意する。 |
| 水生環境有害性 短期（急性） | : 水生生物に毒性 |
| 水生環境有害性 長期（慢性） | : 長期継続的影響によって水生生物に毒性 |

| | |
|-----------------|----------|
| ボンド エフレックス ホワイト | |
| 残留性・分解性 | データなし |
| ボンド エフレックス ホワイト | |
| 生体蓄積性 | データなし |
| ボンド エフレックス ホワイト | |
| 土壌中の移動性 | データなし |
| オゾン層への有害性 | : 分類できない |

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分




- : 外箱、紙管など紙製容器・包装：回収または紙くずとして処理（単体で管理型産業廃棄物、付着成分がある場合も管理型産業廃棄物）。空容器類を廃棄するときは、内容を完全に除去した後に産業廃棄物として処理または回収にまわす。
- 金属缶、金属ドラム、金属チューブ類：金属くずとして処理（単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う）。
- ガラス容器：ガラスくずとして処理（単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う）。
- プラスチック製のボトル、チューブ、袋など：廃プラスチック類として処理（単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う）。

残余廃棄物

- : 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従うこと。廃棄の際は危険情報の反応性を踏まえて処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

| 道路輸送 (UN RTDG) | 海上輸送 (IMDG) | 航空輸送 (IATA) |
|---|---|--|
| 国連番号 | | |
| 3077 | 3077 | 3077 |
| 国連正式品名 | | |
| 環境有害物質（固体） | ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S. | Environmentally hazardous substance, solid, n. o. s. |
| 輸送危険物分類 | | |
| 9 | 9 | 9 |
|  |  |  |
| 容器等級 | | |
| III | III | III |
| 環境有害性 | | |

| | | |
|----------|-----------------------|----------|
| 環境有害性：該当 | 環境有害性：該当 海洋汚染物質：該当 | 環境有害性：該当 |
|----------|-----------------------|----------|

海洋汚染物質：該当
特別な輸送上の注意：『7. 取扱い及び保管法』の記載に従うこと、
容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

国内規制

陸上規制：消防法、労働安全衛生法、毒劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。
海上規制情報：船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報：航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号：171
その他の情報：補足情報なし

15. 適用法令

労働安全衛生法：変異原性が認められた既存化学物質（法第57条の5、労働基準局長通達）
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）
すず及びその化合物（政令番号：322）（含有量：営業秘密）
酸化チタン（IV）（政令番号：191）（含有量：営業秘密）
毒物及び劇物取締法：該当しない
消防法：指定可燃物 可燃性固体類 「火気厳禁」
外国為替及び外国貿易法：輸出貿易管理令別表第1の16の項
船舶安全法：有害性物質（危規則第2、3条危険物告示別表第1）
航空法：その他の有害物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）：該当しない
労働基準法：感作性を有するもの（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号、平8労基局長通達、基発第182号）
通達 基発477号：エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について（ケチミン）

16. その他の情報

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
以前にお渡しした本製品の安全データシートをお持ちの方は破棄して下さい。
法改正や製品の改良によりSDSを改訂する場合がありますので、作成・改訂日が2年以上たっている場合は最新版であるかどうか御確認下さい。
SDSの伝達の経路：安全データシート（SDS）は原則として次の経路で最終取扱事業者様へ伝達されます。
恐れ入りますが、未入手の場合のSDSの御請求や最新版の問い合わせは、販売ルートを通じてお申し出下さい。
【メーカー⇒代理店⇒取扱い事業者】

ホルムアルデヒド放散等級：日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA-001454 F☆☆☆☆
4 VOC 放散速度基準：日本接着剤工業会自主管理規定 JAIA-501338 4 VOC 基準適合

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしており、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある。製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。